

2021年度 第5回 西日本放送番組審議会

開催年月日 2021年9月7日(火) 締め切による書面開催

委員総数 8名

書面参加委員 8名

高嶋 克洋 委員長

佃 昌道 委員

森下 聖史 委員

藤村 晶彦 委員

片岡 雅子 委員

岡田 佳子 委員

山崎 達成 委員

古市 聖一郎 委員

2021年度第5回番組審議会議事次第

【議 題】

テレビ番組 『 神様がくれた夏 高松商業・甲子園への道 』

放 送 日 2021年8月4日(水) 15:50 ~ 16:15

制 作 RNC 西日本放送テレビ

【次回開催予定】

開 催 日 2021年10月12日(火)

場 所 西日本放送 高松本社5階役員会議室

議 題 テレビ番組
『 every.フライデー 』

放 送 日 2021年9月24日(金) 15:50 ~ 16:43

制 作 RNC 西日本放送テレビ

【議事概要】

今回は、テレビ番組『神様がくれた夏 高松商業・甲子園への道』を視聴していただきました。委員の皆様からは、エンディングはみんなの思いをかなえてくれた神様と支えてくれた人をオーバーラップさせ、生徒たちがメッセージを繋げていくシーンは、礼儀礼節を含め、大変清々しく感じた。

短い時間の番組なのでまとめるのは大変な作業だとは思いますが、もう少し多数の選手の紹介もしていただけたらなあ、とは感じた。

香川大会での試合の画像があればもう少し理解が進みやすいと思う。どのように各選手が活躍し、勝ち進んでいたかがダイジェスト版でも見られれば、見る側もより親近感が湧くと思う。

しばしば、ドキュメンタリー番組は、ストーリーが出来すぎていて作りこまれた感があるものだが、本番組は、作り手の意図を過度に感じることはなく、それでいて、効果的なインタビューや映像が自然に視聴者を引き込むものになっていたと思う。高校野球に青春をかける球児の笑顔と涙の裏側が垣間見え、高商野球部を応援したいと思った人も多いだろう。

オリンピック、パラリンピックをはじめとして、スポーツに取り組み、努力する選手のストーリーは、感動と勇気を与える。今回は高校野球部、それも歴史ある高松商業の番組だったが、「頑張る若者」に注目した番組作りを今後も続けていただきたい。野球に限らず、また、スポーツにも限らないと思う。文化芸術・社会活動など。その若者を取り巻く環境、関わる大人の存在を今回のように、さらりと描いていただけることを希望している。

長尾監督は基本精神である、“感謝の気持ち”、“優しくなければ強くなれない”、“自分で考えるチーム”、“頭を使った二流は一流をしのぐ”等、色々な言葉を残されているが、まさに基本精神を教えていることの素晴らしさに共感できた。

高校野球に限らず、スポーツ等を通じた教育というものが、いかに大事かということを感じさせてもらえたことも本番組の大きなアピール点ではなかったかと思う。

との意見がありました。

制作者からは、6年前に選抜準優勝したときに番組を制作して以来、私自身が長尾先生と高商野球部の熱狂的ファンでした。

夏の甲子園で高商番組を作れたことは私にとっても神様がくれたチャンスでした。

残念ながら、高校野球で公式試合の映像を使うのは1番組3分以内という制限があります。今回の番組でも3分マックス使いました。試合の映像を使わずにストーリーを伝えなくてはいけないので、県予選の勝ち上がり方をどう伝えるか模索しています。

次は、長尾先生の教育者としての姿、選手たちの成長を深く見つめるドキュメンタリーを制作したいです。との回答がありました。